



大寒に入った頃、お正月から部屋を飾っていた赤い実のセンリョウに、そろそろお別れしようと思って、ベランダの鉢の土に刺しました。すると早速ヒヨドリが飛んできて、見事に平らげて行きました。小鳥の貪欲な食欲の様子を、私は寒さに縮こまって炬燵から眺めていました。



バレンタイン・デイになり、大好きな、可愛い孫たちに、カードとプレゼントを贈ったら、私の気分も最高となり、もう、そろそろ炬燵から抜け出すことにしました。春を求めて出かけました。エルミターージュの周りは香りほのかな梅が満開でした。



夫も少し気分転換にドライブを楽しみたいということになり、ふと、思い出した場所がありました。磯釣りに行くときに通る三浦市の畑の中の道で、濃いピンク色の桜を見かけたことがありました。華やかな色合いを見て、驚きながらも、いつもは通り過ぎるだけでしたので、正体を確かめようと、早速出かけました。そこまで行ってみると、大変な賑わいでした。京急電鉄の三浦海岸駅から



ら線路に沿って、小松ヶ池公園のあたりまで河津桜が咲いています。大きい臨時駐車場ができていました。「三浦海岸桜まつり」でした。河津桜はほぼ満開でした。小松ヶ池公園の上からは富士山の姿が望めます。池の傍ではカワセミやカワウ、カモなどが見られ、カメラを抱えた人たちが真剣に狙っています。京急電鉄が河津桜を線路沿いと、小松ヶ池の周辺に植えて、観光客を呼び込む計画を立て、桜が成長して、10年前から本格的に「まつり」が始まったようでした。

驚いたことに、かなりの人出でした。その90%は老人と言っていいでしょう。高低差がさほどなく、広さもさほどなく、それなのに、自然を感じられるので、年寄りには身近な公園のようでした。



足元には、元気な菜の花、白い小花のセツブンソウ、香り高い水仙が素朴に咲いていました。桜の花の中では、たくさんのメジロが飛びかい、花を啄んでいました。春だなあ！と嬉しい気分になりました。とても和やかな雰囲気でした。今年一番にお花見を楽しむことが出来て、嬉しく、穏やかに春の日を楽しみました。

せっかくなので城ヶ島まで足を延ばし、のどかな静かな春の海を満喫しました。太平洋、伊豆大島、伊豆半島、天城山、富士山を望める雄大な自然です。ところが磯の岩場の傍に廃屋がそのまま放置され、見る影もありません。こんなに美しい場所なのに、残念です。自然を大切に守り、慈しむ気持ちを持ってほしいと思わずにいられませんでした。